

# HOPの成果と今後の展開について

---

平成28年11月17日

HOP事務局

〔北海道開発局港湾空港部港湾計画課〕

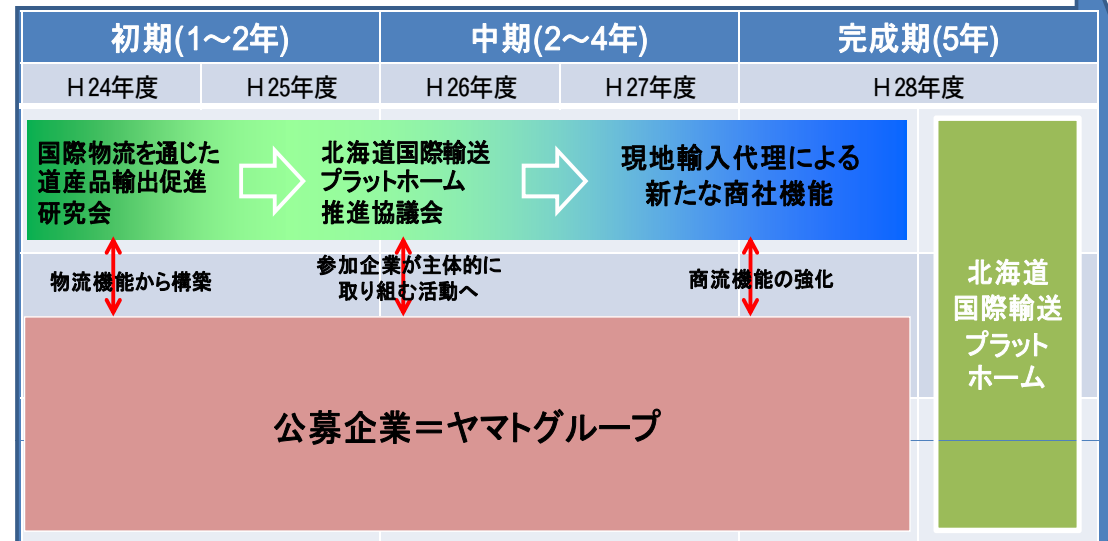
# 1. HOPの概要

- 平成23年10月に「国際物流を通じた道産品輸出促進研究会」（事務局：北海道開発局と札幌大学）を設立し、初心者でも簡単に輸出できる仕組み「北海道国際輸送プラットフォーム（HOP）」を提案。
- HOPは国内初の海外への小口冷凍・冷蔵輸送サービスに加え、輸出手続き支援や海外企業とのマッチングも行う「物流」と「商流」を組み合わせた、産学官一体となった取組。
- 平成25年9月には北海道庁も事務局に加わり、HOP推進協議会に組織変更。
- 5カ年でプラットフォームを構築するスケジュール。平成28年11月現在、54団体で活動中。

## HOPの仕組み



## HOP構築事業のスケジュール



## 2. HOPの利用実績

- 平成24年度のサービス開始後、HOPによる輸送個数は着実に増加。平成25年度から訪日外国人観光客向けの海外おみやげ宅配便サービスを開始。
- 平成27年度からはロットの大きい輸送依頼に対して、複数の航空会社等の見積により、低コスト化や柔軟な集荷・配送日設定等、より荷主の意向に沿った大口向けサービスを開始。
- 平成28年度のHOP1発送実績は、半年間の9月末段階で目標の約6割を達成。ただし、海外おみやげ宅配便については、目標を大きく下回る状況。

### 【「HOPサービス」「海外おみやげ宅配便」輸送個数】 (単位:箱) (単位:店)

	香港	シンガポール	台湾	マレーシア	合計		おみやげ便の 導入店舗	
	HOP1	HOP1	HOP1	HOP1	HOP1	おみやげ便 計		
24年度実績	166	47	-	-	213	-	213	-
25年度実績	120 (35)	96 (2)	61 (5)	-	277	(42)	319	45
26年度実績	300 (65)	91 (13)	207 (24)	16	614	(102)	716	69
27年度実績	154 (100)	56 (18)	1,211 (11)	5 (0)	1,426	(129)	1,555	105
28年度実績 【目標個数】	819 (18) 【1,000】	73 (1) 【300】	629 (4) 【1,000】	0 (0) 【100】	1,521 【2,400】	(23) 【600】	1,544 【3,000】	117 【250】

※【 】は目標個数、及び目標件数  
( )はおみやげ便の個数 2

# 3. これまでの取組の成果

- 平成24年9月～平成28年9月までの約4年間で、通算250社がHOPサービスを活用し、総額約5,400万円、総量約32 tの北海道産品を輸出。
- 海外とのマッチングや輸出のノウハウ等がHOP推進協議会に蓄積され、物流と商流を支援するプラットフォームを概ね構築。

## 【HOP全体の輸出総重量、商品価格、新規利用社数】



【商談の様子】  
FOOD HOKKAIDO 2016



【海外メディアにHOPを紹介】  
シンガポール向けのファムトリップ

	総重量(kg)	商品価格(円)	新規利用社数(社)
H24年度実績	1,369	2,248,856	17
H25年度実績	2,185	5,312,050	85
H26年度実績	4,341	13,639,148	76
H27年度実績	16,107	19,675,529	57
H28年度実績【H28.9現在】	8,979	13,882,342	15
合計	32,981	54,757,925	250

## 4. HOPの課題

- 輸出促進のためには海外企業と道内企業のマッチングが最も重要であるものの、現体制では協議会の限られたメンバーにより、本来業務としてではなく、ボランティア的に行われている。
- マッチングには商談会の周知等の広報費用が必要となるが、現体制では、その費用を確保できない。
- 道内の各自治体が輸出促進の取組みを行っているが、HOPとの連携が図られていない。
- 輸送業者の選択肢を広げることで、輸送可能国の拡大や低コスト化等、より荷主のニーズに沿ったサービスの提供が必要。

課題解決のため、HOP推進協議会の終了後の  
いくつかの体制を協議会会員が検討

# 5. 協議会民間企業による新たな体制の検討例

- 海外で道産品販売を行うHOP推進協議会の民間企業が中心となり、新たに一般社団法人を設立することで、海外とのマッチング機能を強化。
- 民間企業や自治体の会員を募り、会員へのサービスとして、多種・多様な北海道産品を海外で営業・販売。現HOPと同様に、ネット販売や輸出事務手続き等も実施。
- 会員会費や手数料収入により、新たな輸出促進に係る取組や広報を展開。また、荷主のニーズに合わせて、輸送事業者を手配。さらに、自治体会員に海外ニーズを提供し、自治体と連携した取組みを強化。

## 一般社団法人 (新組織)

社員：  
海外道産品販売企業等（基金出資）

### 【海外販売】

- 海外企業への卸売販売
- アンテナショップ・物産展への出品・企画
- ネット販売 等

### 【輸送支援】

- 輸送事業者の手配
- 輸出事務手続き代行 等

会費

サービス

会費

サービス

## 企業会員

- ・ 商品情報を新組織に登録し、新組織がその商品を営業・販売
- ・ 最適な輸送事業者の手配、手続き支援

## 自治体会員

- ・ 海外のニーズを情報提供し、自治体と連携して管内商品を輸出
- ・ 自治体フェアの開催支援

※自治体と連携した輸出促進サービスを平成28年度に試験的に実施

# 6. 石狩市との連携事例①

台湾から商談情報

- 台湾でアンテナショップの新設情報(平成28年11月オープン)
- 北海道の海産品、珍味、お菓子等の募集
- アンテナショップが日本国内で買取(道内企業の海外でのリスクなし)

石狩市で検討

- 石狩市内の加工場に情報を提供
- 新組織が仲介し、サンプル品(アブラガニ、ボタンエビ)を台湾へ輸送

試食会開催

- 味、大きさともに高評価

商談成立

- 年間240kg程、100万円程の仕入を決定



# 6. 石狩市との連携事例②

香港から  
商談情報

- 香港の日本食レストランにて試食会の開催情報
- バイヤーは現地商社、ホテル、日本食料理店のオーナーシェフ
- 日本食のための素材のセット組みを希望

石狩市で検討

- チャンチャン焼きのセット(鮭、タレ)を観光協会と連携し商品化

試食会開催

- 現地の感想

「美味しい。香港では珍しい。北海道フェアとして季節限定で紹介したい。」



商談成立

- チャンチャン焼きの鮭を10kg、タレを100食分を輸出



# 7. 今後のスケジュール

平成28年11月

## ■ H O P 推進協議会（最終）

- ・ H O P の課題解決に向け、自治体や民間企業が会員となった新組織の検討

平成29年4月

## ■ 新組織が法人として設立

## 8. 新組織に関するお問合せ先

H O P 事務局

〔北海道開発局港湾空港部港湾計画課〕

担 当 : 黒川、藪田

T E L : 011-709-2137

F A X : 011-709-2147

E-mail : kurokawa-s22aa@mlit.go.jp  
yabuta-k22aa@mlit.go.jp